

出藍の誉れ

〈学校の教育目標〉

自主共生

自ら 仲間と共に よりよく

文化祭を開催しました ～2年生特集～

11月16日(木)に文化祭を開催しました。2年生にとっては2回目の文化祭でした。2年生の学年文化の発表内容を紹介します。

【2年生】

私たち2年生の強みは協力です。2年生に進級し、新しい学級、新しい仲間との生活が始まった4月。始めはどのクラスもみんなの心がバラバラで、授業や事前取組でも他事をしている人がいて、同じ方向を向いて取り組むことができていませんでした。しかし、その転機は行事、そしてみんなのために動いてくれる仲間の存在でした。

スポ祭などの行事を通して互いに呼びかけ合うことが増えたり、仲間が企画したことを全員が取り組んだりすることで、全員で同じ方向を向いて取り組むことができるようになりました。この協力は日常にも行事に活かされています。

学習面では仲間と交流すること、積極的に関わることを大切にしています。前期は新しいクラスで新しい仲間、学習班に馴染めず積極的に交流することができませんでした。時には、わからない仲間がいてもうまく声をかけられないこともありましたが、だんだんお互いのことをわかるようになると、仲間と積極的に関わりをもつようになりました。積極的に教え合ったり、聞き合ったりしながら、学び合い、切磋琢磨し、お互いを高め、成長し合える関係性を築くことができました。これからも2年生の文化として、相手を尊重し学習を高めていきたいです。

また、行事などの活動をやりきることを通して、互いに高め合ってきました。スポーツ祭では、事前取組からそれぞれのクラスで競い合っていて、配膳タイムを少しでも早くしようと努力しました。また、配膳以外の項目も◎を多くしようと声をかけ合って頑張りました。その結果、スポーツ祭当日では、みんなで協力して最後までやりきることができました。

ふれあい教室では時間行動を特に意識することで、その後の日常生活にも活かされました。今回の文化祭でも、学級別の取組だけでなく、学年での交流を通して、互いに高め合う気持ちをもって取り組んできました。



2年生合唱曲「地球星歌」

指揮：後藤惟華さん 伴奏：武田海渡さん

中谷恵子先生から2年生の学年合唱のコメントは「とても美しい歌声が響いていました。Eのpinfの表現は皆さんの思いが集まって、Eに入ったと同時にとてもうれしい気持ちになりました。音楽のテンポ、流れをみんなで感じ取って表現を進めていくとさらに素晴らしい合唱になります。」

次に、各クラスの文化の発表内容を紹介します。

【2年1組】

2年1組の学級の文化は「団結」です。どんな時でも、みんな1つになって、前に進んでいくよさがあります。しかし、これが文化になるまでには長い長い道のりがありました。この文化は、スポーツ祭の大縄でできました。初めの頃は、真面目に練習する人もいれば、めんどくさがって遊び始める人など、まともに練習することができませんでした。「早く練習始めよう」と呼びかける人がいても、その呼びかけに応える人は指で数えられるほどで、縄に引っかかってしまった人がいたら、その人を責めてしまい、泣き出してしまうこともありましたが、このような練習の姿になってしまったのには、とあ

る理由があります。初めて2年1組で大縄をしたときは、学年全体での練習でした。最後に回数を競い合うことになり、1組の結果は1位。初めてで緊張していたからなのか、思っていたよりも素晴らしい結果になりました。しかし、練習しなくてもどうせ1位が取れる。そう思ってしまったからなのか、油断してしまい、気づいたら他のクラスは昼休みなどを利用して着々と記録を伸ばしている中、1組は何もせず、差が大きく開いてしまいました。

「このままじゃ1位は取れない！1位どころか最下位になってしまう！」と一人一人が気づき始めました。大縄練習では、1回1回の練習を大切にし、引っかかってしまった子には「ドンマイ」などと声をかけたり、跳ぶときの掛け声を1組オリジナルで考えて合わせてみたりなど、クラス全体で作戦を考え、協力し合う場面が徐々に増えていきました。先輩たちからもたくさんのアドバイスをもらい、ついに本番当日。みんなで必死に練習をした大縄の結果は学年1位で合計81回でした。この1組の団結力は、どのクラスにも負けない大きなものになったと思います。



2年1組合唱曲「HEIWAの鐘」

指揮：長谷川莉来さん 伴奏：河本理湖さん

中谷恵子先生からのコメントは「一人一人が声が出ていることがよくわかりました。歌詞が聞き取りやすく、言葉を大切に歌っているのが印象的です。特に男声が出し出して力強く感じました。長く歌い継がれている名曲です。」

【2年2組】

私たち2年2組を一言で言うならば、「仲のよい学級」です。新しいクラスになった4月から、男女分け隔てなく話すことができました。しかし、時としてそれが「これくらいいいだろう」「少しくらいいいだろう」という楽な方向へ流れてしまう時もありました。例えば、スポーツ祭の事前取組。すべての項目を〇にすることがなかなかできませんでした。そこには、「何とか〇をつけたい思い」と「これくらいいいだろう」というような意識の差がありました。しかし、それを変えたのが仲間のために行動してくれる人の姿でした。朝のチャイムに間に合うために玄関で呼びかけをしてくれた惟華さん、玲菜さんの姿、大縄の練習では一番大きな声を出し、仲間を励ます星七さんの行動などがあったことで、徐々に学級の意識が同じ方向へ向き始めました。結果として、すべて〇を続けることはできませんでした。しかし、学級でどんなふうに取り組むのかを話し合った次の日には初めて事前取組の表にすべて〇をつけることができました。また、大縄でも1位にはなれませんでした。学級のベストを更新する記録を本番で出すことができました。スポーツ祭での取組を通して、私たちの「仲のよさ」が「団結力」へ一段階高いレベルになり、「全力で取り組む雰囲気」ができていきました。

そして、その「全力」「団結」は日常でも表れています。特に高まったのが、学習班での学び合いです。以前は、学習班でなかなか意見を聞けなかったり、思うように学習が進まなかったりすることもありました。しかし、みんなの意識が変わり始めてからは、積極的に自分がわからないことを自分から聞いたり、途中の子、悩んでいる子に声をかけたりすることができるようになってきています。

この文化祭の取組期間でも、パートリーダーを中心に声をかけ合って取り組んできました。そこには、パートリーダーだけでなく、それに応えようとする仲間がいたからこそ、自分たちで何をすべきかを考え、練習に取り組むことができました。また、始めはアルトがない状態でしたが、相談しながらよりよい合唱に向けて取り組んできました。

私たち2年2組の学級目標は「一心三十二体」です。これには、それぞれ違えど心一つにして物事に取り組んでいきたいという願いを込めました。



2年2組合唱曲「COSMOS」

指揮：三輪煌聖さん 伴奏：唐木純伶さん

中谷恵子先生からのコメントは「COSMOSは何十年の前から歌い継がれている名曲。だからこそ、難しいと思って聞きました。女声に男声が合わせられ、とてもやさしく歌っていると思いました。」

【2年3組】

私たち2年3組の文化と成長したことは大きく分けて3つあります。

一つめは協力できることです。仲間が考えて行動に移したとき、それをクラス一丸となって取り組むことができる温かいクラスです。今、環境班がロッカーを整える取組をしています。その取組以前は全校放送であったように、整っているロッカーがありませんでしたが、今では乱れているロッカーが2、3個しかありません。これは、環境班の実行力と、素直に受け止め意識してロッカーを整えている3組の仲間のおかげできれいに保たれていると思います。

二つめは、お互いに呼びかけができるようになったことです。最初は、呼びかける人が七海さんしかなくて、それに応える人も少なかったです。でも9月に入ってから呼びかける人も、応える人も増えました。授業中や給食配膳の時間など、いろんな場面で呼びかけ合い、お互いを高め合っています。

三つめは、授業への意識が向上したことです。前期は4が1つあってオール5に一步届かない日が多くて続いていました。でも後期になってオール5が取れる日が増えました。呼びかけができるようになったこととつながり、時間意識が高まって、移動教室の時でベル準を守れるようになりました。ベル準を守ることによって早く授業始めることができたり、授業前学習

を5教科で行ったりすることができています。授業では、学習班を大切に活発に意見を言い合って答えを導きだしたり、教え合いをしたりできています。

このように3組の強みは、やると決めたら失敗しても次に活かして、最後まで本気でやりきることです。合唱練習では、スポ祭の結果を活かして自分たちの文化を最大限に活用し、仲間の呼びかけに応えたり、アドバイスをし合ったりして高め合ってきました。



2年3組合唱曲「輝くために」

指揮：藤原壮汰さん 伴奏：加藤悠亜さん

中谷恵子先生からのコメントは「一音ずつの言葉がとても丁寧に感じました。特に声量のある男子が強く明確なので、女子の声が男子を支え、守っているように伝わり、たくさん練習したんだろうなあと思って聞きました。」



